松本は周囲の山々から生まれでる
清らかな水を地下にたくわえた町です。
水をテーマに、歴史や町並みを
歩いて楽しめるコースをご案内します。

まつもと
MATSUMOTO

水巡り
SPRING WATER EXCURSION

https://visitmatsumoto.com

発行：松本市、松本観光コンベンション協会、新まつもと物語プロジェクト

水の生まれる街

所要時間 約35分

水音が聞こえる。
湧き出した水が集まって川となり、
人々の生活を支えてきた街を歩く。

1. **日の出の泉 薬祖水**
   薬祖神社には「薬の神様」が祀られている
2. **伊織霊水**
   百姓一揆「加助騒動」の農民たちの救済に尽くした鈴木伊織の墓所の脇に湧く
3. **中町**
   蔵のまちで有名
4. **蔵の井戸**
   宮村町にあった造り酒屋を移築再建
5. **源智の井戸**
   天保14年に著された「善光寺道名所図会」に“当国第一の名水”と称賛されている井戸
6. **古民家の前の水路**
   水音に耳をすまして
7. **源地の水源地井戸**
   江戸時代からの町屋の水源

時代とともに守られた水

所要時間 約30分

平安時代の官道の
旅人の泉。戦国時代・江戸時代から
人々の暮らしの中にあった水。
そして、現在へと続く。

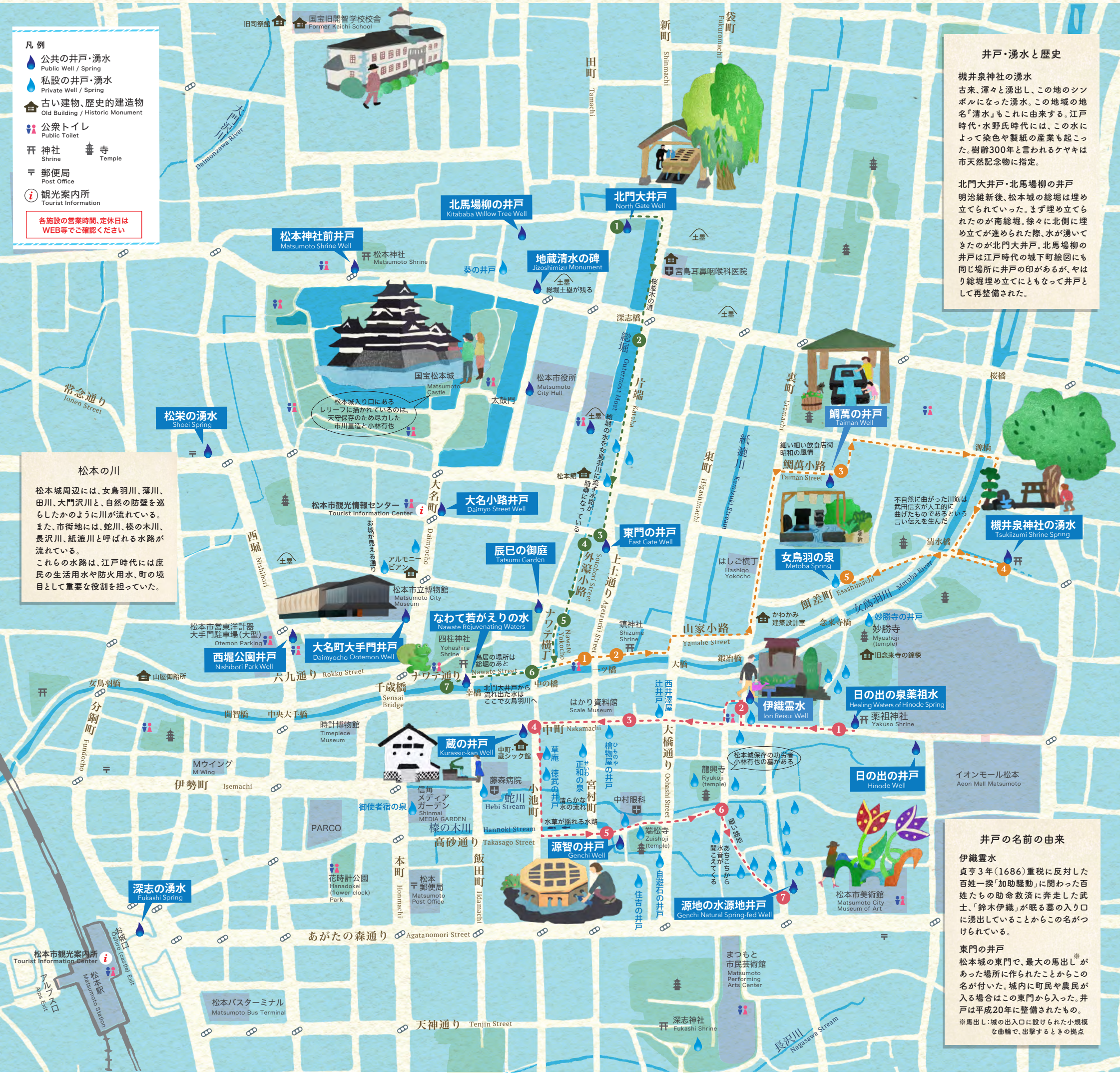
1. **ナワテ通り**
   カエルのまちで有名
2. **鎮神社（しずめ）**
   女鳥羽川の氾濫を鎮めるために建てられた神社
   ▼ **山家小路、裏町を通って鯛萬小路へ**（やまべ）
   鯛萬小路の入り口は見落としやすいので注意
   看板あり
3. **鯛萬の井戸**
   かつてここに料亭「鯛萬」があり名付けられた
4. **槻井泉神社の湧水（つきいずみ）**
   高さ20mのケヤキの下に湧く泉
   平安時代には近くを官道が通った
   古くからの水場
5. **女鳥羽の泉**
   松本市街地唯一の醸造元
   湧水で作る酒や甘酒は美味と評判

お堀の水をたどる

所要時間 約20分

松本城のお堀の水が
街を縫うように流れている。
その水の行方をたどる。

1. **北門大井戸**
   総堀を埋め立てたときに湧き出した水
2. **片端の総堀**
   松本城の総堀で残っているのはここだけ
3. **東門の井戸**
   ここに松本城の東門馬出しがあった
   ▼ **松本ホテル花月の脇の階段を降りる**
4. **外濠小路**
   「上土（あげつち）」の名の由来となった
   堀の土を上に上げた場所
   道の両側に高低差がある
5. **ナワテ横丁**
   総堀の水を流す水路が流れている
6. **緑橋**
   かつての水路の名残
7. **女鳥羽川**



松本の川

松本城周辺には、女鳥羽川、薄川、田川、大門沢川と、自然の防壁を巡らしたかのように川が流れている。また、市街地には、蛇川、榛の木川、長沢川、紙漉川と呼ばれる水路が流れている。
これらの水路は、江戸時代には庶民の生活用水や防火用水、町の境目として重要な役割を担っていた。

井戸・湧水と歴史

槻井泉神社の湧水
古来、渾々と湧出し、この地のシンボルになった湧水。この地域の地名『清水』もこれに由来する。江戸時代・水野氏時代には、この水によって染色や製紙の産業も起こった。樹齢300年と言われるケヤキは市天然記念物に指定。

北門大井戸・北馬場柳の井戸
明治維新後、松本城の総堀は埋め立てられていった。まず埋め立てられたのが南総堀。徐々に北側に埋め立てが進められた際、水が湧いてきたのが北門大井戸。北馬場柳の井戸は江戸時代の城下町絵図にも同じ場所に井戸の印があるが、やはり総堀埋め立てにともなって井戸として再整備された。

井戸の名前の由来

伊織霊水
貞享３年（1686）重税に反対した百姓一揆「加助騒動」に関わった百姓たちの助命救済に奔走した武士、「鈴木伊織」が眠る墓の入り口に湧出していることからこの名がつけられている。

東門の井戸
松本城の東門で、最大の馬出し※があった場所に作られたことからこの名が付いた。城内に町民や農民が入る場合はこの東門から入った。井戸は平成20年に整備されたもの。
※馬出し：城の出入口に設けられた小規模な曲輪で、出撃するときの拠点